

受領 令和4年6月2日 8時49分

通告番号(2)1/2

令和4年6月2日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
比嘉幸雄 印

一般質問通告書

第517回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 軽石被害・支援事業について</p> <p>(1) 村内の軽石による被害状況と軽石撤去状況は。</p> <p>(2) 漁業従事者に対する補償・支援はどのような施策があるか。</p>	
<p>2 村民センター地区について</p> <p>(1) 令和以降、スポーツ施設・新事業の説明と完成予定年月日を伺う。</p> <p>(2) 駐車場の配置場所、駐車台数は。</p> <p>(3) 大戦時の遺構「掩体壕」や「義烈空挺隊玉砕之地慰霊碑」はどうか。</p> <p>(4) 中学生、高校生によるスポーツ大会の種類。開催予定回数は。</p> <p>(5) 村民センター地区へ将来的に公共交通手段として路線バスの路線開拓が必要にならないか。</p>	
<p>3 農業施策について</p> <p>(1) 以前の読谷村の特産物、現在の特産物への変遷の説明を求めます。</p> <p>(2) メロン産地復活の施策の説明を求めます。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(3) 規格外作物の活用方法は。</p>	
<p>4 県は県内子どもや保護者の生活実態を調査し貧困対策の施策に活かす 2021 年子ども調査の報告書を公表した。読谷村の現状を伺う</p> <p>(1) 調査では新型コロナウイルス感染症による、家計への打撃が大きく現れたという。村内子どもの居場所利用者はどう変化したか。</p> <p>(2) 子どもの居場所について知らないと答えた割合が多いと聞く。読谷村の周知方法は。</p> <p>(3) 「子ども食堂」は3箇所で十分か。</p> <p>(4) 県の有識者会議では「子どもの貧困は親の貧困」と指摘されている。低所得者層に限らず、義務教育段階の支出が大きく多くの世帯で収入が落ち込む中、学費が家計の重荷になっている。将来的な対策として村民所得向上策も必要ではないか。</p>	
<p>5 新型コロナウイルス感染症蔓延のため、村民との意見交換及び議会報告会は令和元年以降開催できていない。村民からの直接聞き取りで議会が執行部に政策提起をする。その政策提起がどのように住民生活に反映されているか。説明を求めます。</p>	